### みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2014 vol.209

毎月1日発行

10 星







- ●再生しつつある蒲生干潟が迎える新たな危機 蒲生を守る会
- ●介護保険制度が変わる~期待される担い手は、すべての地域住民~

### 復興への道 地域の目 ~唐桑編~

"よそもの"と"わかもの"で地元再発見

### みやぎNPOプラザからのお知らせ

新入居団体紹介 「つながり」を軸に NPO法人仙台グリーフケア研究会 杜の伝言板ゆるる



# 再生しつつある蒲生

蒲生を守る会

生にて仙台湾へ注ぎ込みます。 部を流れる七北田川は宮城野区蒲 蒲生干潟が広がっています。 の河口左岸には、「生命の宝庫」、 奥羽山脈に端を発し、 仙台市 そ 北

ます。 干潟は現在、 えられて多様な生物が生息してい が混じり合う蒲生干潟には、 全地域に指定されています。 特別保護地区と宮城県自然環境保 多種多様な渡り鳥などです。蒲生 カラシラサギといった希少な鳥 する貴重な生き物や、コクガンや 川から流れ込む豊富な栄養分に支 アカテガニなどの絶滅の危機に瀕 仙台湾の海水と七北田川の淡水 シギ・チドリをはじめとする たとえば、フトヘナタリ、 国指定の鳥獣保護区 海と

面埋立ては中止され、 保護団体や市民の声によって、 められた仙台港の造成工事によっ 危機もありました。しかし、自然 かつて一九六〇年代後半から進 一時は干潟全面埋立てという 約半分の干

潟が今に残っています。

た。 す。 びかける観察会を継続してきまし 態調査や干潟の大切さを市民へ呼 結成されたのが蒲生を守る会で このとき、 会では、以降、 干潟の保全を訴え、 蒲生干潟の生

### • • • 干潟の回復力のすごさ

た。 海岸林もなぎ倒されてしまいまし 削られ消失したほか、干潟周辺の と干潟を隔てていた砂州が津波で 生態系にも甚大な被害を与えまし 生した津波は、仙台湾沿岸地域の 二〇一一年、 蒲生干潟も例外ではなく、海 東日本大震災で発

と干潟で生息していた生き物の幼 再び形成され、砂と一緒にもとも あります。 て、 生干潟でしたが、三年の月日を経 現在は元の姿を取り戻しつつ 時は壊滅的な被害を被った蒲 潮の満ち干きで砂州が

てきました。 の底生生物を食べる渡り鳥が戻 などの底生生物が増え、さらにそ 幼生が成長してカニやゴカイ、 生が運ばれてきました。 干潟の生態系も徐々に回復し 貝

めてわかったのです。 たことが、 物たちの生命力はそれ以上であっ ものの、干潟の持つ回復力、生き 確かに津波の影響は大きかった 震災後の調査であらた

る巨大防潮堤建設計画です。 危機をもたらすと考えられている れる可能性が示唆されています。 蒲生干潟の生態系に危機が再び訪 は、 しかし、現在、 仙台湾沿岸に予定されてい 回復しつつある

### •••• もたらす影響 巨大防潮堤が

うと、 に 地区では、 の計画が現状のまま て進められています。 年以内の完成を目指 の防潮堤建設計画が五 ル、幅四十メートルほど 全体に海抜七・二メート は様々な影響が出 仙台市宮城野区 蒲生干潟の生態系 進められてしま 一律に 海岸 浦 **図** Z 7 生

> しまうと、 い 、ます。 蒲生を守る会は考えて

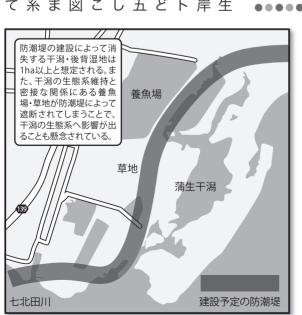
そして、

接的なものが考えられます。 その影響には直 接的なも の

います。 す。 地、 ると、工事のために埋め立てられ、 状の計画通りに防潮堤が建設され 間 接な関係がある後背湿地の面積は 一ヘクタール以上と見積もられて 一部の干潟や周囲の後背湿地 まず直接的な影響について、 消失する干潟と干潟環境に密 養魚場) が消失してしまいま

分断を挙げています。 蒲生を守る会は干潟と後背湿地の 次に、 間接的な影響について、

は、 干潟の周囲を取り巻く後背湿地 干潟の生態系を維持するうえ



▼ではここにも巨大な防潮堤が建設される予定干潟(左)と養魚場(右)の間の現防潮堤。計画



います。 度が調整されていると考えられて に供給されることで、その塩分濃 魚場があり、 で二つの重要な役割を持ってい 蒲生干潟の西側には淡水の養 一つは干潟の塩分濃度調整で 地下から淡水が干潟 ま

ちの行き来がありました。 これまで養魚場や草地と干潟には 物の通路となっていることです。 繁殖していました。 栄養のやりとりを通じた生き物た もう一つの役割は栄養分と生き 多くのカモやカイツブリは池 草地では多数の小鳥が また、 たとえ 一部の

> いました。 卵や捕食の際には干潟に出てきて カニは後背湿地に生息し ながら放

まいます。 り、生態系のバランスが崩れてし 潟と後背湿地間を移動できなくな しまうと、一部の生き物たちが干 このように、 このまま防潮堤 切っても切れな が建設されて い

うのです。 な防潮堤によって分断されてしま 関係にある干潟と後背湿地が巨大

側へ後退させることが望ましい」 話しています。 と蒲生を守る会の熊谷佳二さんは 潮堤建設の位置を計画よりも西側 防潮堤のセットバックです。「防 蒲生を守る会が訴えているのが そのような事態を避けるた 可能ならば旧貞山堀よりも西 め

問題を考えると、「二十~三十メー ずらす方針を発表しました。しか 余地がある」と蒲生を守る会では ことが重要で、 とは思えません。 生態系を存続させることができる トルのセットバックでは、干潟の 二十~三十メートルほど内陸側 画を見直し、 て、 宮城県はこうした要望を受け 干潟と後背湿地の分断という この九月二十五日、 防潮堤建設位置を まだまだ議論する 声を上げていく 当初の計

考えていま

## 市民とともに考える

きるいきもののこと、 けを提供するためです。 防潮堤問題を考えてもらうきっか を見てもらい、同時に先に述べた と。自然再生を考えるバスツアー」 る会は「知ってほしい にも蒲生干潟とその周辺の生き物 (※)を開催しました。一般の人々 今年九月二十一日、 !身近に牛 環境のこ 蒲

した。 少生物種の再生状況を見て回りま がら、震災を乗り越えた干潟や希 参加。防潮堤建設予定地を歩きな 当日は総勢三十七名がツアーに

を持ちました」「会の考え、 など、自然観察を楽しむ声ととも 物を見ることができてよかった」 参加者からは 「防潮堤問題について強い関心 「干潟特有の生き 活動に



▶バスツアー参加者へ蒲生干潟の生き物

たちの説明をする熊谷さん(右

仙台市青葉区角五郎2-4-6 木村方

※SAVE JAPANプロジェクトの一環として、 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる、認定 NPO法人日本NPOセンターとともに実施。 SAVE JAPANプロジェクトは損害保険ジャ パン日本興亜株式会社の協賛のもと、全国 各地で「いきものが住みやすい環境づくり」 を進めるプロジェクトです。

DSAVE JAPANプロジェクトHP● http://savejapan-pj.net/sj2014/

共感できた」という声もありま

生を守

について、

環境団体や学識者だけ

や防潮堤建設による干潟への影響 定です。震災後の干潟の再生状況 大防潮堤計画 (仮)」も開催する予

にはシンポジウム「蒲生干潟と巨

蒲生を守る会では、

今年十一月

えています。

ともに開かれた議論をしたいと考 でなく、地域住民や一般の市民と

進めています。 考えてもらいたいのです」と蒲 らったうえで、その是非につい の影響をみなさんにも知っても の考えです。防潮堤建設の自然 を守る会はシンポジウムの準備 人もどちらも、というのが私たち 「干潟か人かではなく、 7 も

取材・ 執筆

### 蒲生を守る会

〒980-0874

# 険制度が変ね

## が地域 は

域包括ケアシステムの構築を実現 以上の高齢者人口は過去最高 入ってきた。 生活支援が一体的に提供される地 の最後まで続けることができるよ な要介護状態になっても住み慣れ になる平成三十七年を目途に重度 三一九〇万人となり、 齢社会白書によれば、六十五歳 た地域で自分らしい暮らしを人生 二五・一%と過去最高になった。 ようとしている。 日 医療・介護・予防・住まい・ は、 本は 団塊の世代が七十五歳 いよ 平成二十六年版 いよ 超高齢社会 高齢化率も の 高 に

介護保険制度の改正

年ごとに見直しが繰り返されてき 社会化しようと平成十二年に介護 たが、十四年たった今、更に大き 保険制度が施行された。 人が人らしく生きる為に、 介護される人もする人も、 制度は三 介護を 共に

制 く変わろうとしてい 度改正は、 大きく三点。

防給付の対象から除外へ

<u>-</u> 通所介護の改正

な課題となりそうだ。 いた人たちへの対応がとても重要 で訪問介護と通所介護を利用して 保険の本体給付から外れ、これま 予防訪問介護のサービスが、介護 と買い物が中心となっている介護 能訓練が大半の介護予防通所介護 三・特別養護老人ホームへの入所 中でも介護予防については、機 対象を、原則要介護三以上へ

様な主体が生活支援サービスを提 ンティアやNPO、 生活支援のニーズが増加し、 には単身世帯が増加することから 援サービスを想定している。 によれば、地域住民による生活支 厚生労働省が公開している資料 民間企業等多 そこ

も関わ

5

ਰ

平成二十七年度からの介護保険

要支援一・二の軽度者につい 訪問介護・通所介護の予

置させる。

サービスコーディネーター」を配 マッチングなどを行う「生活支援 開発や地域のニーズと地域支援の い手の養成・発掘など地域資源の 支援サービスの充実に向けて、担 るとしている。そして多様な生活

スや人材の開拓は決して十分では

地域で暮らし続ける為のサービ

や高齢 ボランティア活動への過度の期待 ない現状の中で、担い手に市民の

居者が 増加し 割合が きる同 増え、 世帯が 者二人 ている 家族の いない 介護で

> メージは図の通り。 材料の多い見直し案となっている。 増えることが推測される等、 度が上がり、自宅待機の高齢者が 施設に入居できる対象者の要介護 具体的な生活支援サービスの 不安

会参加し、社会的役割を担うこと 足することから、高齢者自らも社

で、生きがいや介護予防につなが

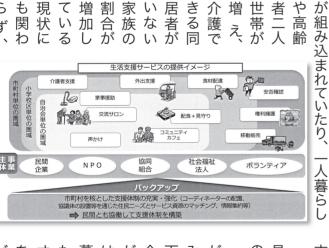
### . . . 福祉NPOの反応

支援する団体だ。 動する団体やネットワーク組織を きる地域社会の実現を目指して活 で普通に」暮らし続けることので ター(CLC)は、「だれもが地域 ミュニティライフサポートセン を展開しているNPO法人全国コ 仙台を拠点に全国で支援活 動

のように語った。 昌弘さんは、次 理事長の池田

「高齢者人口

は、 が全国の都市部で増えています。 を確保できず、稼働できない施設 たく無い状態が続き、介護施設を 募集しても募集しても応募がまっ があります。それどころか近年 み、人口に占める高齢者の比率は が増加し、少子化で人口減少が進 オープンしたものの介護スタッフ 介護保険料を高くすることに限界 下がりません。そして、これ以上 介護の現場で働くスタッフは



供することが必要と記載されてい

一方で、地域には担い手が不

られるカタチだろうと思っていま 門職による介護サービスとの組み 受け取り生活の潤いも享受する、 護の担い手になり、若干の謝礼を 時代のまちづくり』の話でもある 支え合っていく、そんな『新しい ない、しかしみんなの問題として 的に考え、すべてを他人任せにし すぎた『介護』や『老いの暮らし方』 は『サービスの対象』にしてしまい す。これは、『専門職中心』あるい 合わせが、これからの時代に求め そんな地域の支え合い活動と、専 民自身がその解決に乗り出すし たちの問題として真剣に考え、住 こうした現実を私たち住民が自分 今一度住民一人ひとりが主体 元気な高齢者が介 か

平成十五年に現在の地に「にこに 上げ、平成八年から「機能訓練」の 平成七年にボランティア団体を立 FOR YOU ミニデイサービスを始めた。 この家」を開設し、介護予防事業 手伝いやミニデイケアサービス 白区四郎丸で活動するNPO法人 「にこにこくらぶ」を開始。その後、 しているNPOもある。 方 仙台市の介護予防サービス提 既にかなり近い形で活動 にこにこの家は、 仙台市太

> している。 組んでいるほ の児童館を指定管理者として運営 供事業所としてモデル事業に取り か、 仙台市と白石市

さんは、 理事長の 小岩

「介護保険事



間約二三〇万円の仙台市からの助 と話している。 継続につながらないと思います。」 在と行政からの補助金がなければ ちのように有償ボランティアの存 活動が求められたとしても、 防通所介護として地域の支え手の 成があるからです。来年、 存在と家賃や利用者補助として年 支えてくれる有償ボランティアの が、このにこにこの家の事業は、 があり有給職員も雇用しています れているから。今では児童館事業 有償ボランティアとして続けてく を続けてこれたのは、地元の人が やミニデイサービスの倶楽部事業 業者ではなく、カルチャーサロン 、介護予 私た

出ている。元気な高齢者も来るが、 7 利用者など様々だが、 車 対して仙台市から同額の補助金が 付きで通常一、二〇〇円。これに いるのだろう。 ・いすの利用者や八十歳を超えた にこにこの家の利用料は、 魅力的なプログラムが引付け 皆さん元気 昼食

> 四郎丸地域包括支援センター、 平成十六年から地域の福祉施設や 東中田」を作り、地域でだれもが う十九団体で「ほっとネットin 生委員、児童館など地域福祉を担 元気で暮らせるまちにしたいとそ F Ř 民

> > また介護は他者

専門的

場つくりを行おうとしている。 制度サービスと制度外サービス調 PO福祉ねっと宮城」を結成した。 ンティアとして参画できる機会や 多様な団体間の協働や市民がボラ 市民協働事業に採択され、 実施。今年度は仙台市が公募した 轄の制度外サービス状況調査等を 査、各地域包括支援センターの管 識調査や、 協議体では市民のボランティア意 する仙台市の十団体が協議体 度改正から推測できる課題を共有 ま 昨年七月には、今回の制 高齢者の在宅を支える 、地域の N

す。」と話している。

さんは、「今後 理 事の中村祥子 ープゆう代表 NPO法人グ

協議体にも参加している仙台市

です。 は各自治体が地域の実情に合わせ てどう施策案を作成するかが焦点 方的な受け手でした。これからは 今まで市民は制度改正の一

事務局を担っている。 YOUにこにこの家は、 きる体制つくりが求められるので 己選択自己決定の原則を基本に、 手としての学びの場ともなる。 て生き甲斐に繋がり、公共の担い 担うことで、社会参加の機会を得 保障されるべきです。一方、軽微 が、正当な労働対価で担う安心が 保護等の共有すべき概念を持つ人 な介護知識や技術、プライバシー の心身にふれる仕事です。 みがあるといい。 市民が参画して地域福祉を推進で な支援は自発的なボランティアが 担 質の検証等に参画できる仕 の 責任やサービス内容の

ずれにしても地域の福祉を担うの これからの推移に注目したい。 担い手、そして資金が欠かせない 組織として運営していく仕組みと 継続していくには、個人ではなく、 住民が主体になる。それを担って は、他でもないそこに住んでいる ていくか検討している段階だ。 二十七年度からどのように展開 間の猶予があるため、 介護保険制度改正の実施は三年 各自治体は い

(文責:大久保朝江)

# 、よそもの、と、わかもの、

くわ丸」をご紹介します。 る活動をしている任意団体 の良さを遊びや学びを通して伝え 桑半島で地元の子どもたちに唐桑 (仙沼市の北東部に位置する唐 : 「から

ボランティア団体のフレンズ国際 五月に立ち上げました。当時現役 出身の加藤拓馬さんが震災の翌年 常駐し活動を開始 ワークキャンプの一員として唐桑に を開始した学生・社会人混成の ティアすることを決意。縁あって 被害の報道を見て被災地でボラン 震災直後の四月から唐桑での活動 大学生だった加藤さんは、大津波 現在は事務局長をしている兵庫

を中心に活 な支援をす より効果的 五月からは ましたが、 動をしてい 物資配布等 礫の撤去や 当初は瓦



るため、 週開催されています。 連絡会」と名を変え、継続して毎 催してきました。現在でも て「唐桑ボランティア団」を毎週開 け入れを行うための連絡の場とし 有と活動調整・ボランティアの受 外部支援団体が中心となり情報共 加藤さんをはじめとする

がりました。

## 地元若者の気づき

く関わりながら唐桑の魅力を発信 から。」を作成・発行し、 地域のお祭り支援や、情報誌「けっ た彼は、住民の絆を取り戻すため、 るものだ」ということを知ってい だけでなく、地域の絆をも破壊す 自身が阪神淡路大震災で被災し 復学しようと考えていましたが 去が落ち着いたらこの地を去り、 「災害は、家屋や財産を破壊する 続けました。 加藤さんは、当初は、 地元と深 瓦礫の撤

に埋もれ当

に必死に活動している すると、見ず知らずの地域のた *"*よそも

と気づきま

た。」と昨

りに地元の、わかもの、が集まりだ 者同士が加藤さんを媒体として繋 知り合う機会もなかった地元の若 始めました。震災がなければ深く への興味から、 自分たちに出来ることを考え 卓さん 塚本 気仙沼出身。 震災後、被

加藤さんの周

から具体的に提示され、 況に変化を与えてくれているよそ していたまちへの愛が、よそもの した。交流を深めるうちに漠然と 活動に自然と引付けられていきま ものに対する期待感があり、その メだなと思いつつも、どうすれば いいかわからずにいた。そんな状 元に残ったけど、今のままではダ 「自分の住むまちが大好きで地



ことが唐桑

五名で「からくわ丸」を立上げ、 加藤さんを含め他県から来ている 一さん。そんな地元の若者三名と 年の四月から代表を務める立花淳 で活動しています。 在では地元十四名、 よそもの三名 現

災者支援を続け、現在 はNPO法人気仙沼まち

づくりセンターの気仙沼 まちづくり支援センタ 長に就いている。

# 子どもと地域の魅力再発見

それが高齢者の生きがいづくりに のみならず、世代間交流がなされ、 口にすることも少ない料理の伝承 師に迎え開催。今では若い世代が 学生や小中学生対象に高齢者を講 見です。例えば、郷土料理の作り どもを中心とした地域の魅力再発 ていますが、共通のテーマは、 くわいなか学校」と、興味を抱き ス」「釣りバカ大会」「ふるさとから キングまんま」「メリーカラクワ 方講座「クッキングまんま」は、 やすそうな名でイベントを開催し これまでに、「まちあるき」「クッ 子

の。よそもの。の関わり方が難しく なっていることもあります。 つけ住み着いている加藤さん以外 いくこれからは、気仙沼に職を見 地元主体へと徐々に移行して

る活動をしていきます。 るよう旗を掲げ、 これからも多くの人を巻き込め 荒海を乗り越え

▶立花さん(左)

す。

▶「市民協働と防災」テーマ館

〜つながることがまちのチカラになる〜

第3回国連防災世界会員

玉

連防災世



●せんだい・みやぎNPOセンター 防災からまちづくりを考える実行委員会 務局長 伊藤浩子さん

回目となる仙台の会議には、

世界

市で、 界で唯一のグローバルな防災指針 日 枠組(HFA)」が策定されました。 防災の取組指針である「兵庫行動 年に神戸市で開催され、 策定する国連主催の会議です。 ます。これは国際的な防災戦略を Reduction) が仙台市で開催され Conference on Disaster Risk 「兵庫行動枠組(HFA)」とは、 回世界会議は一九九四年に横浜 にかけて、 二〇一五年三月十四日~十 災害による人命および社 第二回世界会議は二〇〇五 (Third UN World 第三回国連防災 国際的な 第 世 会

成果目標と 幅に削減さ されていま れることが の損失が大 環境的資産 的·経済的· 今回の三 3/14 € ひきだす マチノワ つながることが まちのチカラになる 3/15 📵 独居者など・守り活動や・国りごとを協

> 防災戦略を話し合い、前回策定さ 定する予定となっています。 振り返るとともに、次の戦略を策 れた「兵庫行動枠組」の進捗状況を の関係者が集まり、グローバルな 国際機関代表、国際NGO等防災 各国から首脳・閣僚、 政府関係者、

### 仙台市が 「ロール・モデル都市.

都市目 例目) 世界防災キャンペーン『災害に強 災キャンペーンの一環として、 ら二〇一五年まで実施している防 れました。これは、二〇一〇年か ル・モデル (模範) 都市」 に認定さ い都市の構築』で、世界で三十五 事 各国の防災の模範となる取り組み 務局 四〇〇の参加都市のうち、 仙 台 の先進的な防災都市 (UNISDR)が実施する 市 (日本では兵庫県に続き二 は、 国 [連国際防災戦略 

を実施している都市を選んで認定 するものです 今回、

とする「市民協働と防災」で

す。

です。 防災・環境都市としての街づくり 震災の教訓を踏まえたこれからの 震災前からの防災の取り組みと、 界会議の開催地に選ばれたのは、 「市民力」が特に評価されてのこと に関して、 仙台市がこの国連防災世 市民協働の取り組みと

# 市民参画型のフォーラムも

く場も創ります。

未来へ続くまちづくりを考えて

ます。 自治体や市民団体、 となるのです。 中に国連主催の本体会議とあわせ ついて、学び・考える貴重な機会 ストとともに市民が改めて防災に る場であり、世界各国からくるゲ が多数参加して、各種シンポジウ に、防災や復興に取り組んできた て、「パブリックフォーラム」とし ムや展示などの関連事業を開催し て仙台市中心部の公共施設を会場 仙 芸婦催の特徴は、 ' 防災や復興について発信す 企業、 本会議期間 大学等

民

参

市民活動サポ のテーマ館が設けられました。 「女性と防災」、 つはエルパーク仙台を会場とする の中には仙台ならではの、二つ 加えてこのパブリックフォ ートセンターを会場 もう一つは仙台市 ーラ さい! ご参加くだ ます。ぜひ、 企画してい 様々なプレ 災世界会議 イベントを になるよう

市民が学び合い、対話をしながら 発信していきます。と同時に海外 ワークショップ、展示などの形で 様な取り組みをシンポジウム、 り組みの他、 でいる様々な主体に光を当て、 支援活動や防災・減災に取り組 から訪れるゲストとともに私たち たNGOの活動などを含めて、 それぞれ、各テーマの視点から 宮城県域、 海外から支援に入っ 岩手や福島での 多 仙 取 h

セージを伝えていきましょう。 できたことを世界に発信し、 験したからこそ、学んで取り組ん ると言われている日本。震災を経 来年三月の本会議に向けて、 防災分野では世界の最先端であ メッ ょ

取り組む防 画 で ご覧ください。 ◆第3回国連防災世界会議仙台開催実行委員会 http://www.bosai-sendai.jp/

り多くの市 国連防災世界会議の情報は下記HPから

パブリックフォーラム「市民協働と防災」 http://machinowa.net/ ▶「女性と防災」

http://www.sendai-l.jp/

### みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPO プラザからのお知らせです。

居しました。

フケア研究会(以下、

グリ研)が入

務ブースにNPO法人仙台グリー

九月、

みやぎNPOプラザの

### 「つながり」を軸に ~NPO法人仙台グリーフケア研究会~

わかちあいと出会う

深い悲しみや様々な感情を言いま ら開いています。 わかちあいの会』を二〇〇六年か した方が集まって語らう場として グリーフとは、 グリ研では、 大切な人を亡く 喪失体験による

問いません。家族、恋人、友人、 からです。 は共通しているという想いがある 大切な人を亡くしたということで その人との関係性も問いません。 わかちあいの会では病死、 自死、その亡くなった原因を 普段なかなか声に出せ 事故 ます。

ます。 なことではありません。 るなかでの気づきを大切にしてい 同じ経験をした方と時間を共有す ない気持ちを表現することは簡単 たくない時には、無理に話さず

時は、 いて、 こういう場があることが支えでし かちあいの会の新聞記事を切り抜 意味が大きいと思います」と言い 話せると思える場所があることの た。ここだったら聞いてくれる、 東日本大震災でご家族を亡く 、グリ研に関わり始めた方は「わ 大切に持っていました。当 足が向かなかったけれど

> ションスキルを二日間で学ぶ講座 サポートの知識とコミュニケー もファシリテーター育成のため、

を開催してきました。

今後は、一

仙台、 ています。当日は、 るよう継続しています。 る方が少ない場合もあります。 不要です。そのため、時には集ま ちで参加できるよう、事前予約は れでも、 震災以降のわかちあいの会は 石巻、岩沼、気仙沼で行っ 安心した時間を提供でき その日の気持

自分が話

要 で タッフ 育成にも を通じて ング研修 トレーニ 言動が重 す。

理事長の滑川明男さん。これまで力を入れたいと思っています」と

◀理事長の滑川明男さん

## 継続する起点として

役であるファシリテーターが同席 ませんが、 します。 わかちあいの会には、 「関わり方の正解はあり わかちあいの場ではス 必ず進行

▶みんなで輪をつくり行う、

わかちあ

ます。 間三年で、プラザの講座や情報を タッフを一名増やし、専門的な知 継続してやっていく起点。入居期 間口を広げ、一人でも多くの方に を受け付ける体制を整えました。 識を持って電話相談やメール相談 を持てるようになりたい」と話 積極的に活用し、 について滑川さんは、「事務所は つながりを持ってもらうためで 四月には、 ブラザに事務所を移したこと 事務局に常駐するス 自分たちの拠点

゚ラザのNPO講座・相談

す。

サポートする環境を準備 た活動を目指しています。 グリ研は、 い つでも落ち着いて

お申込みはコチラから

長期型のプログラムを検討してい 年間じっくりと時間をかけて学ぶ

ます。

法人設立・運営相談 毎週水曜 13:00~17:00

会計・税務相談 10/28(火) 13:00~17:00

融資なんでも相談 11/20(木) 13:00~17:00 みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5

022-256-0505 022-256-0533 🗷 npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです

みやぎNPO情報ネット http://www.miyagi-npo.gr.jp/



### 助成金情

※詳細については、それぞれの ホームページ等の要項をご確 認ください。

### 住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム -活動・研究助成— 2015年度新規助成

●助成対象:Aコース/ユースが任意のチーム/サークル/グルー

プで取り組む活動や研究

Bコース/NPOや大学(院)等の組織においてユース

が主体的に取り組む活動や研究

●助成金額:Aコース/1件あたり10~50万円

Bコース/1件あたり50~300万円

●募集期間:10月15日(水)~10月30日(木)必着

●連 絡 先:住友商事株式会社 環境・CSR部

(担当:森、安田、上崎)

〒104-8610 東京都中央区晴海1-8-11 TEL: 03-5166-6754、3653、3374

URL: http://www.sumitomocorp.co.jp/news/

detail/id=27924

### トヨタ財団 2014年度国内助成プログラム一般枠

●助成対象:・地域課題解決のための担い手育成

・地域課題解決のための新規組織・事業の立ち

上げ 等

●助成金額:上限300万円/件(1年間プロジェクト)

上限600万円/件(2年間プロジェクト)

●助成要件:組織ではなく、多様なセクター、世代などが参

加するプロジェクト・チームへの助成

●応募締切:2014年10月31日(金)15:00

●連 絡 先:公益財団法人トヨタ財団 国内助成プログラム

〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビル37階 私書箱236号

TEL: 03-3344-1701 FAX: 03-3342-6911

E-mail: gp4ca@toyotafound.or.jp URL: http://toyotafound.or.jp/

### 2014年度 社会福祉事業 NPO基盤強化資金助成 「認定NPO法人取得資金」の助成

●助成対象:「認定NPO法人」取得に関する費用

※2016年3月末までに所轄庁に「認定」の申請を

行うことが必要

●助成金額:1団体30万円

●応募締切:2014年10月31日(金)17:00

●連 絡 先:公益財団法人損保ジャパン記念財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL: 03-3349-9570 FAX: 03-5322-5257

URL: http://www.sj-foundation.org/

### 環境保全プロジェクト助成

●助成対象:自然保護、環境教育、リサイクル

●助成金額:1プロジェクトあたり上限20万円

●募集締切:10月31日(金)当日消印有効

●連 絡 先:公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL: 03-3349-4614 FAX: 03-3348-8140

E-mail: office@sjnkef.org

URL: http://www.sjnkef.org/project/index.html

### 平成26年度 みやぎ社会貢献大賞

●応募資格:宮城県内において、市民活動のために日々積極的 に活動し、設立後概ね5年以上活動している団体

金:大賞100万円、

ノミネート賞3万円(第1次審査通過団体)

●応募締切:2014年11月8日(土)当日消印有効

●連 絡 先:一般財団法人愛知揆一福祉振興会

〒980-0813 仙台市青葉区米ケ袋1-5-21 TEL: 022-262-0666 FAX: 022-227-1320

URL: http://www.aichi-fukushi.org

### 公益財団法人未来の東北博覧会記念国際交 流基金 助成金

●助成対象:(1)国際交流事業、(2)国際協力事業、

(3)多分化共生推進事業

●助成金額:上限100万円 ●募集締切:11月10日(月)

●連 絡 先:公益財団法人未来の東北博覧会記念国際交流基金

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

宮城県合同庁舎7階

(公益財団法人宮城県国際化協会内)

TEL: 022-275-3796 FAX: 022-272-5063

E-mail: mail@mia-miyaqi.jp

URL: http://mia-miyagi.jp/grant\_kikin.html

### 2014年度 東北ろうきん 復興支援助成金制度

●助成対象:東日本大震災以降に行っている復旧・復興、被

災者支援活動

●助成金額:1団体あたり30万円

●応募締切:11月20日(木)

●連絡先:東北労働金庫営業推進部(担当:三浦)

〒980-8661 仙台市青葉区北目町1-15

Ace21ビル

TEL: 022-723-1118 FAX: 022-215-3169

E-mail: suishin@tohoku-rokin.or.jp URL: http://tohoku-rokin.or.jp

### 大阪コミュニティ財団 2015年度助成

●対象分野:医療、青少年、教育、芸術・文化、途上国支援、 環境保全、地域活性化、震災復興、動物、健康

增進、福祉増進

●助成金額:応募先の基金により異なります ※詳細は募集要項をご覧ください

●応募締切:2014年11月28日(金)当日消印有効

●連 絡 先:公益財団法人大阪コミュニティ財団 事務局 〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋2-8

大阪商工会議所5階

TEL: 06-6944-6260 FAX: 06-6944-6261 E-mail: info@osaka-community.or.ip URL: http://www.osaka-community.or.jp/

児:あり(要事前申込・無料・1歳~未就学児・定員20名) ●託 1歳以下のお子さんなどは同室で参加できます。

●申込方法:住所、氏名、TEL、対象になるお子さんの年齢 (ワークショップの参考にします)・託児希望の 方は、お子さんのお名前・年齢を明記し、下記

連絡先にハガキ・FAX・E-mail・TELで申込み ●申込締切:10月20日(月)必着

催:みやぎ生協生活文化部

●連 絡 先:担当:佐藤・菊地

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 TEL: 022-218-3880 FAX: 022-218-3663

E-mail: sn.mkosodate@todock.jp



●主

### 第13回仙台ゴスペル・フェスティバル

歌い手(千人)と観客の歌声がアーケード商店街の屋根(ドー ム)に鳴り響き、街は"大聖堂"と化す、杜の都の11月の風物 詩。今年のコンセプトは「LOVE」。ぜひ、一緒に街を愛でいっ ぱいにしましょう!

※当日ボランティアも随時募集中!下記連絡先までお問合せ ください。

時:11月1日(土)11:00~18:30

●場 所:◆ストリートステージ

10会場 仙台駅前~一番町~市民広場

▶フィナーレステージ 円形広場(市民広場隣)

催:仙台ゴスペル・フェスティバル実行委員会 ●主

●連絡先:事務局

〒981-8003 仙台市泉区南光台4-16-27-N101

TEL: 022-341-4163(10:00~18:00)

FAX: 020-4665-5685 E-mail: info@gosfes.org URL: http://www.gosfes.org/



### 子どもサポーターズ養成講座

時:全4回 時間はすべて10:00~17:15

◆11月8日(土)、11月9日(日)、11月15日(土) 日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)

◆11月22日(土) 仙台市民会館

容:・いじめ、虐待、不登校、震災の影響など、子 一内 どもの問題を学ぶ

> ・受講後は、当団体が主催する地域の子ども・ 親子対象イベントのボランティアとしてもご 活動いただけます。また、どんな悩みも受け 止める、18歳までの子どもがかけるフリーダ イヤル「チャイルドライン」の受け手ボラン

ティアの研修に参加できます。

●定 員:40名 ●参 加 費:全講座受講2,000円(資料代として)、一般受講 1講座につき500円

●申込方法:下記必要事項を連絡先へお知らせください。 氏名、住所、TEL、年齢、学校と学年(学生のみ)、

希望の講座(一般受講者のみ)

●申込締切:11月5日(水)

●主 催:NPO法人チャイルドラインみやぎ

●連 絡 先:担当:岩切

〒981-0954 仙台市青葉区川平1-16-5

スカイハイツ102

TEL/FAX: 022-279-7210 E-mail: c.l.miyagi@viola.ocn.ne.jp

URL: http://cl-miyagi.org/



### SSG仙台発そなえゲーム ファシリテーター養成講座

「SSG仙台発そなえゲーム」は、プレーヤーが架空の住民に なって、「災害に備えるために、自分や地域に何が必要か、 何ができるか」について考えながら、実践的に学べる参加型 ボードゲームです。今後は、「SSG仙台発そなえゲーム」を 宮城県から全国への普及を目指し、ファシリテーターの養成 講座を実施します。

時:3回連続講座、各回受講希望日にご参加ください。 

①→②→③の講座順で受講していただきます。

①11月14日(金)14:30~16:30 12月5日(金)14:30~16:30 1月9日(金)14:30~16:30

②11月29日(土)10:00~12:00 12月5日(金)18:00~20:00 1月9日(金)18:00~20:00

③11月29日(土)13:30~16:30 12月19日(金)9:00~12:00 1月30日(金)9:00~12:00

●提 所: 仙台市福祉プラザ(仙台市青葉区五橋2-12-2)

容:①SSG仙台発そなえゲームの説明、体験 ●内 ②SSG仙台発そなえゲーム実践 ③ファシリテーターの実践

●定 員:各回20名

●参 加 費:3,000円(資料代、1,000円×3回) ※初回講座受付時にお支払いください。

●申込方法:下記連絡先まで、各回の受講希望日、氏名、年 代、ご所属、住所、連絡先をご記入の上、FAX、

E-mailにて事前申込み

催:市民協働による地域防災推進実行委員会

●連 絡 先:事務局(NPO法人FOR YOUにこにこの家内)

担当:小岩、大野 TEL: 022-241-0858

E-mail: nikoniko@w2.dion.ne.jp

### [情]報[を]お]待[ち]し[て[い]ま]す

○申込方法:問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要 も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 掲載は無料です!

○締切:毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します) ○誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。

※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6 TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327

e-mail:npo@yururu.com



今年もSAVE JAPANプロジェクトが始まりました! 今年の2月末から、蒲生を守る会とともに、頭をひねりな がらプログラムを考え、開催前には、晴れることを祈る日々 ……。その願いが届き当日は、秋晴れのもと開催出来まし た。今後は、11月には蒲生干潟と防潮堤計画を考えるシ ンポジウムを開催します。ぜひ、地域の自然と人間の共生 について考える1日に、お越しください。(村上)

### ちょっと。ボランティア 『子どもが遊べる土の道づくり』

「地域や社会のために何かしたいけれど、何ができるのかわ からない」「何から始めていいかわからない」という方々に、 市民活動を体験していただく、機会をつくりました!身近な ところで、できる活動から試してみませんか?

時:10月25日(土)10:00~13:00 ※雨天中止 

●集合場所:仙台市青葉区西公園グラウンド南側

●案 内 人:西公園プレーパークの会

容:西公園の遊歩道をキレイに整える活動のボラン

ティア体験

●定 員:15人(先着順)

●参加費:無料

●持 ち 物:汚れてもよい服装、軍手、手ぬぐい、靴(サン

ダル不可)

●申込方法:下記連絡先にTEL・E-mailにて申込み。申込み

時、氏名、年代、住所、TEL・FAXをお知らせ

ください。

●主 催:仙台市市民活動サポートセンター

●企画·実施:NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター

●連 絡 先:仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3

TEL: 022-212-3010 E-mail: sendai@sapo-sen.jp URL: http://sapo-sen.jp/

### ~いつも元気でいるために~ 外国人のためのストレスケア教室

日本に暮らす外国人には言葉や文化などの違いにより大きな ストレスがかかります。この異文化ストレスについて正しく理 解し、ストレス解消方法をみんなで楽しく学んでみませんか?

時:13:30~16:00(13:00開場) ※下記会場共通 

【気仙沼地区】

10月25日(土) 気仙沼プラザホテル

【仙台地区】

11月8日(土) ホテル法華クラブ仙台

●講 師:一條 玲香氏(臨床心理士)

●内 容:ストレスは心や体とつながっています。自分の

ストレスに気づこう。ストレス解消法をみんな

で考えよう。 ※通訳つき

校 象:在住外国人とその家族、支援者

●参 加 費:無料(要事前申込。お早めにお申込みください)

●申込方法:下記連絡先にTEL・E-mailで申込み 催:公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)

TEL: 022-275-3796 FAX: 022-272-5063

E-mail: mail@mia-miyagi.jp URL: http://mia-miyagi.jp/

### 被災地からの情報発信講座 ~情報を広く発信するためのノウハウ~

NPO・サークル・商店・会社。もちろん個人でも情報発信の 大切さや、効果的な発信方法をパソコン操作と共に学ぶ講座で す。発信したい情報はあるけど、そのすべを知らない。パソコン 操作方法をもっと知りたい。そんな皆さま、是非ご参加ください!

時:10月29日(水)より、10回開催(週1~2回) 

19:00~21:00(開場:18:30)

●場 所: 名取市文化会館 1階会議室 ※無料駐車場有

(名取市増田字柳田520)

容: ①Jimdoを使ったホームページ作成 ●内

> ②ワードでレイアウトを意識したチラシ作成 ③ホームページとSNSを連携した活用方法

●定 員:10名(先着順)

●参加費:無料(別途、10回分のテキスト代2,000円を頂きます)

●申込方法:TELまたは下記E-mailで申込み

催: 宮城県 ●主

●企画·実施:NPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城

●連 絡 先:担当:杉山、木ノ下

TEL: 022-293-7767(火~土、9:30~18:00)

E-mail: ict@ictnpo-miyagi.jp URL: http://www.ictnpo-miygi.jp



### 子育てを楽しむコツ♪ 子どもの気持ち も、SOSも受け止められる親になろう

「子育てってむずかしなぁ」と感じることはありませんか?子 どもの話を聴く事や子どものSOSに気付き、手を差し伸べ られる親になることをテーマに、親のあり方や役割など楽し く学びます。

時:10月31日(金)10:30~12:30 

●場 所:エル・パーク仙台5階 セミナーホール

(仙台市青葉区一番町4-11-1)

●講 師:佐々 礼子氏(CAPみやぎ)

校 象:幼児から思春期(中学生くらい)のお子さんのい

るご家族、または、関心のある方どなたでも

●参加費:無料(要申込)



●縦覧中の団体の申請書類は ■宮城県 こちらから確認できます

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html

■仙台市

http://www.city.sendai.jp/d01/1202909\_1433.html

١	IPO法人の設立を新		宮城県等所轄分8月11日~9月10日 仙台市所轄分8月11日~9月10日		
	団 体 名	所在地	活動内容	受理日	
宮城県等	生涯学習実践塾	名取市	生涯学習等に関する事業を通じ、文化の 振興による地域活性化を図る	8/19	

### 新たに認定(仮認定)NPO法人を取得したNPO法人

- ●認 定/JETO(ジェット)みやぎ(宮城野区)
- ●仮認定/あかねグループ(若林区)
- ※認定(仮認定)NPO法人への寄付金は税額控除の対象になるなど、 認定(仮認定)NPO法人は税制面で優遇措置を受けることができます

	NPO法人に認証された団体				宮城県等所轄分8月11日~9月10日 仙台市所轄分8月11日~9月10日	
		団 体 名	所在地	活動内容	認証日	
9	宮城県等	TEDIC	石巻市	子ども・若者の社会的繋がりの啓発・促 進を図る事業	8/28	
	県等	てくてく	松島町	松島町における介護保険事業及び世代間 交流の場作り事業	9/8	
		サン・キッズ保育園	泉区	保育事業	8/28	
	仙台市	ひまわりの会	青葉区	求職者に対する就労支援、情報提供事業 雇用全般・社会生活に関する相談、調査 研究、情報提供事業 ストリートチルドレンの生活支援、物資提 供及び教育支援事業 等	9/1	

宮城県のNPO法人数

79団体(宮城県等所轄:365団体 仙台市所轄:414団体)

※2014年

・会場:石巻市保健相談センター・3F講義室

・定員:45名

象:どなたでも

●参 加 費:上記全講座受講無料

●申込方法:下記連絡先にFAX、またはTELで申込み

HPから申込可能

●申込締切:受講を希望される第1段階の講座の開催日10日

催:NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター(CLC) ●主

●連 絡 先:担当:橋本・堀切

〒981-0932 仙台市青葉区木町16-30

シンエイ木町ビル 1階

TEL: 022-727-8730 FAX: 022-727-8737

URL: http://www.clc-japan.com

### 「市民活動を始めよう!」~ボランティ 16 ア活動から一歩進んで市民活動へ!~

市民活動は特別なものではなく、想いがあれば誰でもチャレン ジできる活動です!「ボランティア活動は知っているけど、市民 活動と何が違うの?」…と疑問をお持ちのみなさん、市民活動 について学び、地域社会のための活動に参加してみませんか?

時:10月16日(木)13:30~15:30 

●場 所: 名取市役所 5階 第1会議室

●講 師:大久保 朝江氏

(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)

●内 容:◆ボランティア活動と市民活動の違い

◆市民活動でできること ◆参加する方法

◆市民活動で個人の力を発揮する方法

◆市民活動団体として活動するときのポイント

象:名取市にお住まいで市民活動をはじめたい方や、 ●対 NPOやボランティア活動に興味ある方など

●定 員:15名(先着順)

●受 講 料:無料

●申込方法:下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み 申込み時、団体名、参加者名、TEL、FAX、E-mail

をお知らせください。

●主 催:名取市

●企画·実施:認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

●連 絡 先:名取市市民活動支援センター 〒981-1232 名取市大手町5-6-1

TEL: 022-382-0829 FAX: 022-382-0841

E-mail: npo@natori-npocenter.or.jp

### 印刷物デザイン+ワード講座

市民の情報発信に必要なデザイン・レイアウトの基礎を学ぶ と共に、PCを使用し、ワードによる「目を引くタイトル部分 の制作」を実際に作りながらデザインに必要なワードのテク ニックを学びます。

時:10月19日(日)13:30~16:30

所:せんだいメディアテーク 7階会議室b ●場

(仙台市青葉区春日町2-1)

師:真山正太氏(グラフィックデザイナー) ●講 千葉 浩二氏(ITメディアオペレーター)

●定 員:10名(事前申込み受付順)

●参加費:2,000円(当日会場でお支払いください)

●持 ち 物:PCをご持参ください。

※PC貸出し有、貸出料500円 (台数に限りがあります)

●申込方法:下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み URLリンク先からも申込可能。

催:一般社団法人メディアデザイン

●連 絡 先:〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11

朝日プラザ北一番丁1階

TEL: 090-3049-0613 FAX: 022-224-5308

E-mail: kouza@mediadesign.jp

URL: http://mediadesign.jp/article-4454/

### 10 ∠ 伝えよう、広げよう、みんなの想い 19 — みやぎNPOフォーラム2014 —

みやぎのNPOがさらに元気になり、市民のみなさんがNPO をもっと身近に感じられる社会を目指し、今年もNPOフォー ラムを開催します。「NPOってどんなことをしているの?」 という方から、長年NPO活動に取り組んでいる方まで、誰 でも気軽に参加できるプログラムが満載です。

時:10月19日(日)10:00~16:30

●場 所:みやぎNPOプラザ

容: ◆10:00~12:00 ●内

> 「想いをカタチに~NPOのための写真撮り方講座」 「写真」に焦点を当て、NPOにとって効果的な 情報発信のスキルアップを目指します。

・講師:福田 沙織氏

(Photo Win代表、NPO法人ハーベスト理事)

・対象:NPOや市民活動団体のメンバーの方、これ から市民活動を始めようと考えている方

· 定員: 20名(要事前申込、申込先着順)

・持ち物:デジタルカメラなど※必ずご持参下さい

・参加費:1,000円(税込)

**♦**13:00~15:30

「座談カフェ:みやぎから発信! NPOの役割 と未来を語ろう!」

宮城のNPOの課題と未来について、ゲストを 交え参加者とざっくばらんに語り合います。

・ゲスト:

伊藤 清市氏

(NPO法人ゆにふりみやぎ理事長)

佐藤 正実氏

(NPO法人20世紀アーカイブ仙台副理事長) 中山 聖子氏

(NPO法人ハーベスト常務理事)

大久保 朝江氏

(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)

・コーディネーター:

佐藤 和文氏(みやぎNPOプラザ館長)

・対象:市民活動に関心のある方ならどなたでも

・定員:40名(申込み先着順)

・参加費:500円 ※飲み物・軽食付。座談力 フェ参加の方は交流会無料。

◆15:30~16:30【交流会】

参加者同士の交流を広げましょう!美味しい軽 食と飲み物を用意してお待ちしております。

・対象: どなたでも

・参加費:300円

◆10:00~15:00【みやぎのNPOひろば】 会議室や販売ブースを利用したNPOのワーク ショップやショップコーナーもあります。

●申込方法:みやぎNPOプラザまでTEL・FAX・E-mailで申込み

●主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)

●企画・実施:認定NPO法人杜の伝言板ゆるる ●連 絡 先:みやぎNPOプラザ (連絡先は、P8をご覧ください)

時:10月9日(木)~10月10日(金) 

※田代島に宿泊します。

所:第1日目のウォーキングは、金華山。

第2日目は、田代島。

●参加資格:健康な方ならどなたでも参加できます。 ●参加費:20,000円(交通費及び宿泊などを含む)

●申込方法:下記連絡先にTEL・FAXで連絡のうえ、申込み

申込み時、氏名、住所、年齢、TELをお知らせ下さい。

細:ウォーキング・コースなどの詳細は下記イベン ●詳

トHPよりご確認下さい。

●主 催:NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンター

●連 絡 先: TEL/FAX: 0225-96-4334

携帯:090-8787-3873(担当・松村) URL: http://ouentai.net/island/

### | 公開シンポジウム 11「ベッキョ・リコン後のコソダテ」 ~面会交流支援の立場から~

私たちは、離婚等により離れてしまった子どもとの変わるこ とのない関わり、親子の絆が絶えることのない社会の実現の ための活動をしています。「なぜ、だれのために面会交流支 援は必要なのか?そのためには何が必要なのか?」をさまざ まな立場から考えたいと思います。

時:10月11日(土) 13:30~17:00 

●場 所:エル・ソーラ仙台 大研修室 (仙台市青葉区中央1-3-1)

容:・基調講演 講師:古市 理奈氏

(NPOびじっと 理事長)

・視察報告「明石市の取り組み」 ~離婚後の面会交流支援~

報告者:小野寺 淳一氏(仙台市市議会議員)

・パネルディスカッション・質疑など

校 象:子どもたちの支援活動に関わる方

子どもとの関わりから、この問題に関心のある

方等(対象者の制限は特にありません。)

●定 員:70名

●参加費:1,000円

●申込方法:下記TELまたはE-mailで問合せ、申込み

●託 児:なし

●主 催:親子ネット東北、宮城県父子の会、ステップファ

ミリーアソシエーションオブジャパン

●連絡先:担当:笹

TEL: 080-5558-8849

E-mail: ss\_hiro\_4653@yahoo.co.jp

URL: http://oyakonet.org/

### ワールド・ビジョン・カフェ in 宮城

遠い国に住むチャイルドへ思いを馳せませんか。ワールド・ ビジョン・ジャパンの活動についての理解をより深めるだけ でなく、「これまでチャイルドに手紙を書いたことがない」「ど んな人たちが支援に加わっているのだろう」など、日ごろの思 いを直接解消していただくよい機会になればと願っています。

時:10月11日(土)14:00~16:30 

所:仙台市情報・産業プラザ セミナールーム(2)B ●場

(仙台市青葉区中央1-3-1)

●内 容:・団体紹介

・カンボジア支援地活動報告

・交流会 等

→ 44 象:どなたでも参加可

●参加費:無料

●申込方法:参加ご希望の方は3日前までに、下記TEL、E-mail、

HP申込フォームからお申込みください。

●主 催:NPO法人ワールド・ビジョン・ジャパン ●連 絡 先: TEL: 03-5334-5351(平日9:30-19:00)

E-mail: dservice@worldvision.or.jp

URL: http://www.worldvision.jp/involve/

event/wv cafe.html



わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒 り、辛いお気持ち等を、静かに語り合います。日常生活で語 れなかったことを、ご遺族同士でわかちあっていただく安心 な場所です。

時:14:00~16:30開催 

> ★岩沼会場10月11日(土) 場所:岩沼市民図書館 ★石巻会場10月12日(日)

場所:カリタスジャパン石巻ベース

★仙台会場10月18日(土)

場所:仙台市市民活動サポートセンター

★気仙沼会場10月25日(土)

場所: 気仙沼市民健康管理センター「すこやか」 気仙沼会場は、13:00~15:00開催

象:大切な方を亡くされた方(死因は問いません)

●参加 費:無料

●申込方法:不要 ※託児をご希望の方は要事前問合せ

催:NPO法人仙台グリーフケア研究会

●連 絡 先:TEL:070-5548-2186

E-mail: griefoffice@gmail.com

### 支え合い活動や生きがい仕事、生活支 援サービス事業の立ち上げ支援講座

関心はあるが一歩が踏み出せない、活動をどう始めたらよい かヒントを得たい、という方々を対象に、全国各地の実践報 告とその解説から、地域のなかで人と人がつながり合う活動 と事業の実際を学ぶとともに、次なる一歩を踏み出すきっか けとすることを目的に開催します。講座は3段階形式で実施 します。今回の第1段階は、ご希望の会場、開催回を、複数 受講可。各講座の詳細、今後の日程は下記URLをご覧くだ さい。

http://www.clc-japan.com/140822/

### 第一段階講座

【仙台会場】◆1回目 10月12日(日)13:00~16:30

実践報告:ボランティアグループ沖代すずめ (大分県中津市)

会場:日立システムズホール仙台・エッグホール

・定員:80名

◆2回目 10月19日(日)13:00~16:30 実践報告:ボランティアグループすずの会

(神奈川県川崎市)

・会場:TKP仙台カンファレンスセンター・カ ンファレンスルーム3A

・定員:65名

【石巻会場】◆2回目 10月18日(土)13:00~16:30

実践報告:ボランティアグループすずの会

(神奈川県川崎市)

●展示期間:9月9日(火)~10月18日(土)

所: Cafe&ArtRestaurant オリーブの風 ●営業時間:11:30~16:00(日・月・祝定休)

●主 催:NPO法人シャロームの会

●連 絡 先: Cafe&ArtRestaurant オリーブの風

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5

みやぎNPOプラザ内1階 TEL: 080-5731-4345

URL: http://www.sharome.net/npo/noah.html

### 物創り塾 会員募集中 ~私の行きたい場所づくり~

「年だから」と家にばかりいないで。障がいがあるからと習い 事を諦めないで。自分が本当にやりたい物創りを自分のテン ポで学べる場所づくりを始めました。

程:毎週水曜日、土曜日 ●場 所:みやぎNPOプラザ

容:【バリアフリーつくろい塾】 ●内

> 着物のリメイク、思い出の服のリフォーム、自 分の作りたい服などなど、初歩からお手伝いし ます。創るプロセスを楽しみましょう。

【手繕い塾】

着物のリメイクの第一歩。ベストに作り直しましょう。 【バリアフリー布ぞうり塾】

足を使わないで創ります。古布のエコ利用です。

●会 費:年会費2,000円 ●塾参加費:2時間1,000円

●申込方法:下記連絡先に問合せのうえ、申込み

●その他:【服のお悩みありませんか?】

こどもから高齢者まで障がいの有無にかかわら ず、あるがままの自分の肉体の状態に合わせ、 おしゃれで着心地の良い服を創ります。

●主 催:ユニバーサルファッション工房繕

●連 絡 先:担当:佐藤

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5

みやぎNPOプラザ内 TEL: 090-9037-5556

### 11月開講!「仙台自主夜間中学」生徒募集

小学校・中学校の学習範囲を、だれでも(年齢・学歴・国籍

に関係なく)学べる勉強会を開催します。いつでも入学でき、 特別な手続きは不要です。希望する科目をボランティア講師 が丁寧に教え、事前連絡があれば勉強内容の打ち合わせもで きます。 ※中学校卒業の資格は取得できません

時: <夜間部>毎月第1・3水曜日 18:00~20:30 

<昼間部>毎月第1・3火曜日 14:00~16:30

●場 所: <夜間部>仙台市市民活動サポートセンター <昼間部>仙台駅前 西口 ロフト向いビル

(会場詳細は、お問合せください)

●入学金・授業料:無料

催:仙台に夜間中学をつくり育てる会

●連 絡 先: 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3 仙台市市民活動サポートセンター LC106

TEL: 090-7562-3227(中澤)

E-mail: c.yasaka.r@ab.auone-net.jp

### 3月12日はじまりのごはん ~いつ、どこで、なにたべた?~

震災のとき、はじめて口にしたものはなんでしたか?炊き出 し、買い物、食卓の風景など、震災時の私たち市民が撮影し た「ごはん」にまつわる写真を展示します。

時:10月1日(水)~11月16日(日) 9:00~22:00 ※10月23日(木)は休館

●場 所:せんだいメディアテーク 7階ラウンジ

●参 加 費:入場無料

●曲 込:不要・直接会場へ

●主 催:NPO法人20世紀アーカイブ仙台

3がつ11にちをわすれないためにセンター

(せんだいメディアテーク)

●連 絡 先:NPO法人20世紀アーカイブ仙台

〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-11-2 TEL: 022-387-0656 FAX: 022-387-0651

E-mail: npo@20thcas.or.jp URL: http://www.20thcas.or.jp/

### 復興ヘトップギア 石巻 アイランド・ウォーキング田代島&金華山

震災後、3年6か月経過しますが、これまで数々のご支援賜 り感謝申し上げます。私たちの住んでいる石巻では、復興へ スピードアップしています。これら感謝を含め1日も早い復 興を祈願し、「アイランド・ウォーキング田代島&金華山」を 企画し、開催します。

### ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2014.9.16現在)敬称略

### ●正会員 50名

<仙台市> ●かほく「108」クラブ

### ●賛助会員 74名

### ●寄付者

<仙台市> ●かほく「108」クラブ

### \_\_員\_\_\_募\_\_\_集

会員種類	年会費		
正会員個人·NPO	10,000円		
正会員法人	20,000円		
賛助会員個人	-□ 3,000円		
賛助会員NPO	-□ 5,000円		
賛助会員企業·団体	-□ 20,000円		

※正会員以外は、総会での議決権が ありません。

### 郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の 種類をご記入ください。



### information

9月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。 詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。



### ◯◯ ボランティア情報 ◯◯

### 仙台短篇映画祭2014 ボランティアスタッフ大募集!!

11月1日(土)~3日(月・祝)に開催される『仙台短篇映画祭』。今年も多くの方に楽しんでもらえるものとなるよう、現在準備を進めているところです。映画祭当日、私たちと一緒に映画祭を盛り上げてくれるボランティアスタッフを募集します。

●活動日時:10月31日(金)~11月3日(月・祝)9:00~21:00

※4日間のうち、1~3日間でも可。活動時間も応相談。

●活動内容: ·10月31日(金)

前日準備(会場準備、配付物準備等)

・11月1日(土)~3日(月・祝)

受付、チケット販売・もぎり、誘導、プログラムの運営補助等

●対 象:映画が好きな方

イベントの運営に興味がある方

お客さんと明るく、丁寧に接することのできる方 カメラ、ビデオ等の記録用機材を扱える方

※学生さんも大歓迎!

●申込方法:下記E-mailに、「当日ボランティア参加希望」と

記載しご連絡をお願いします。

●応募主体:仙台短篇映画祭実行委員会

●連 絡 先: 〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1

せんだいメディアテーク7階 企画・活動支援室内

E-mail: info@shortpiece.com URL: http://www.shortpiece.com/

### (() お知らせ(())

### 「第3回エクセレントNPO大賞」募集開始

「『エクセレントNPO』をめざそう市民会議」では非営利組織の質の向上を促すとともに、こうした努力をする非営利組織

を社会へ「見える化」することを目的に、今年も募集を開始しました。多くの団体からのエントリーをお待ちしています。

●応募資格:国内外における社会貢献を目的とした市民による日本国内のNPOや種々の民間非営利組織

(法人格の有無不問)※他薦も可

●審査方法:第1~第3次審査を実施し、選考の結果、最終的

な受賞団体を決定

50万円)を贈呈

●表 彰:「エクセレントNPO」の基本条件である、「市民性」「社会変革性」「組織安定性」に基づき、「市民賞」、「課題解決力賞」、「組織力賞」の3つの受賞団体を決定。受賞団体には、賞状、賞金(各賞

※また、各受賞団体の中から最も優れたNPOとして、「エクセレントNPO大賞」を決定します。

●応募方法:所定の申込用紙に記入の上、FAX、郵送にて申

込(メールでの受付不可)

申込用紙はHPからダウンロード可能

https://www.mainichi-ks.co.jp/form/e-npo/

●応募締切:10月17日(金)23:59(郵送の場合は当日消印有効)

●主 催:「エクセレントNPO」をめざそう市民会議

●連 絡 先:応募受付・審査進行管理

「エクセレントNPO大賞審査委員会事務局」 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-20-7 言論NPO内 TEL: 03-3548-0511 (平日9時半~17時半)

FAX: 03-3548-0512

E-mail: info@excellent-npo.net

URL: http://www.excellent-npo.net/index.

回網回

php/ja/1staward

### 虹色のつながり ニィーナ阿部作品展 Rainbow Connection ~ハワイの虹とマナのチカラ~

みなさんこんにちは(ALOHA!!)この作品展では、雑誌HULA Le'aに掲載されてきた過去の作品原画の展示と、この度あらたに 描き下ろした、大好きな虹とHawaiiのパステル画数点で、みなさ んと共にマナ(愛)のエネルギーを共有できればと思っています。

主催:宮城県 企画・実施:認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

### 地域で実践できる「寄付の集め方教室」

「寄付を集めましょう~!と言ったってね~」「ほかはいったいどうやって集めているの?」と思っていませんか?今回の「寄付の集め方教室」は、まさにそんなあなたの団体のために開催します。あの手この手で実際に資金につなげている秋田の事例、都会とは違う寄付の集め方からヒントを得て、自分の団体にも可能な道を探ってみませんか?

11/6 &

●事例紹介「あきたスギッチファンドの寄付集めあれこれ」 講師: 畠山順子氏 (NPO法人あきたパートナーシップ副代表理事)

●ワークショップ「自分の団体を売り込もう!」

コーディネーター: 大久保朝江氏 (認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)

場 所 みやぎ婦人会館 第1研修室(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)

定員 30名 参加費 無料

象 宮城県内で活動するNPO(法人格の有無は問わない)

申込方法 杜の伝言板ゆるるまで直接お申込み、または申込フォームから (URL:http://urx.nu/ccJo)

問合せ先 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる(連絡先は裏表紙下部をご覧ください)



### ボランティア・市民活動情報

information 各種募集はこちらから



### まなびピア 2014

### 全国生涯学習ネットワークフォーラム

2014 宮城大: プレフォーラム

つながる力が地域をつくり未来をひらく ∼震災からの学びと気づきを次の一

県内ではどんな人たちがどんな活動をしているんだろう? 日々活動している中でのいろいろな思いを情報交換できたら… 今回、様々な立場でこれからの宮城を支える活動団体等が 出会いつながる1日に、ぜひご参加ください! パネリストの方とも交流できます!

- ●会 場:石巻市「遊楽館」
- ●対 象:主に宮城県内で生涯学習活動に携わるNPOなどの 関係団体や行政関係者など
- ●定 員:200人程度
- ●申込方法:下記URLから申込書をダウンロードの上、必要事項を

ご記入いただき、下記連絡先までFAX、E-mail、郵送にてお申込みください。

●申込締切:10月20日(月)

全国生涯学習ネットワークフォーラム2014宮城大会実行委員会事務局 問合せ・連絡先 (宮城県教育庁 生涯学習課 生涯学習振興班内)

- ◆TEL:022-211-3652 ◆FAX:022-211-3697
- ◆E-mail:syogakl@pref.miyagi.jp(syogakの次の文字はl〈エル〉です)
- ◆URL:http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syougaku/zensyounet.html

### 

- ★交流セッション
- ★パネルディスカッション

パネリスト

神戸大学 教授 松岡 広路さん ReRoots 代表 広瀬 剛史さん

いのちの森をつくる会 会長 古藤野 靖さん

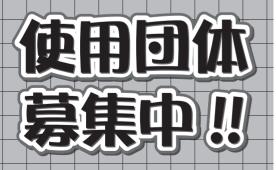
- ★グループワーク·全体会
- ★メインフォーラムは、

11月18~19日仙台にて開催! 詳細は、問合先のURL・

QRコードからご覧ください。



### みやぎNPOプラザ



この秋、みやぎNPOプラザでは、NPOの活動拠点となる貸事務室の使用団体を募集します。 今回は市民のコミュニティビジネスの場として活用できる常設ショップ・ギャラリースペースに ついても同時に募集します。いつでも集まれる拠点を持つことは、組織基盤の強化や活動の発 展につながります!

皆さんの熱い想いを実現する為、プラザの事務室、常設ショップ・ギャラリースペースを活用し てみませんか?

定期的に募集するものではありませんので、ぜひこの機会にご検討ください。

募集施設	面積	月額使用料(税込)	使用期間
事務室(大)	約18㎡	18,500円	平成26年12月2日~最長3年
事務室(小)	約4㎡	4,100円	平成26年12月2日~最長3年
常設ショップ・ギャラリー	約10㎡	10.200円	平成26年12月2日~最長3年

※100V電源コンセント、電話用モジュラージャックは上記金額内で使用可。 インターネット用モジュラージャックの使用については別途月額1,000円(税込)の使用料が必要です。

### 募集対象団体

- ・県内で活動するNPOや市民活動団体(NPO法人格の有無は不問)
- ・団体の規約に基づいて総会の開催、事業報告、収支決算が行われている団体

### 申込方法

「募集要項」の応募団体の要件、入居後の使用条件、選考の方法、入居までのス ケジュールなどの詳細を必ずご確認のうえ、所定の申込書と必要書類を併せて、 みやぎNPOプラザまで持参または郵送してください。 ※11/14(金)に公開ヒアリング・選考を行います。 申込締切

募集要項·申込書配布場所

みやぎNPOプラザ窓口、宮城県NPO・協働社会推進班で配布しています。 また、下記サイトからもダウンロードできます。

みやぎNPO情報ネット http://www.miyagi-npo.gr.jp/

11/7(金)

H26年

問合せ・申込先:みやぎNPOプラザ(連絡先は8pをご覧ください)



発行:特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6 TEL 022-791-9323 FAX 022-791-9327 E-mail npo@yururu.com URL http://www.yururu.com

集:大久保朝江 大西 村上 直樹 千恵

デザイン:can 表紙イラスト:きのこ 発 行 日:2014年10月1日

発行部数: 10,000部

刷:コマツ・コーポレーション

